

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	記入年月日
記入団体名	川越市女性ネットワーク	平成23年3月31日

予算事業名	男女共同参画推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	----------	--

協働事業名称	男女共同参画意識啓発事業	
協働事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間：男女共同参画意識啓発講演会 市民フォーラム 「男と女の介護の現場から」 ・男女共同参画研修会3回 市民啓発講座 ①「あなたが主役～私の知らない私が・・・」 市民啓発講座 ②「イーブン（対等）なコミュニケーションとは？」 リーダー研修会③ 高齢社会「家族と女性」 ・男女共同参画情報紙「イーブン」企画、編集、発行（年2回） 	
協働事業の決算額	870,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成22年6月22日 ～ 平成23年3月31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	①補助・助成 ②共催 ③協働委託 ④後援 ⑤情報交換・情報提供 ⑥実行委員会・協議会 ⑦事業協力 ⑧企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報を共有することができましたか。	前	3	3	3
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	2	3	2.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	4	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	2	2	2
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	2	3	2.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	4	4
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	2	3

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	4	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	3	4	3.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	3	3.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	4	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いませんか。	後	4	3	3.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	47.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様、実施団体の決定から市民フォーラム事業実施までの期間が短く、受託者の負担が大きい。研修会や講座といった事業を実施する場合、会場や講師との調整や参加者の募集等事前準備に時間を要することから、事業実施予定日の遅くとも半年前には実施団体を決定したい。 ・協働委託というのは、官民双方の意見交換が重要であり、受託者の会議や打ち合わせには積極的に参加し、信頼関係や共通理解を深めていくことが大切と思われる。市が行った方がスムーズにいくこともあり、会場の確保や情報紙の取材先への連絡等、市としても事業に参加していく姿勢が必要である。
<p>【市民活動団体等】</p> <p>「協働事業」というスタイルは、「行政主導」、「委託事業」とは違った業務への関わり方がある。責任の所在、役割等、その違いが生じ、それぞれにおいて、境界（線引き）が曖昧になる危険性があるので、事前に、あるいは必要に応じて、互いに詳細部分の確認が必要であることを実感した。</p> <p>行政と市民団体が協働し、事業を実施するということは、行政主導型や市民団体単独型にはないメリットを生み出す可能性が大きい。互いの信頼関係が大切で、関わり方、役割分担等においては、より詳細な確認が必要になるということがわかった。団体メンバーからは、多くの方々に、実際の事業を見ていただき、評価して頂きたいという声があった。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

<p>【事業に関するコメント】</p> <p>役割分担などについては改善する余地があるのではないのでしょうか。また、男性の参加者が少ないように感じられますので、今後に期待します。</p>

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	記入年月日
記入団体名	川越市女性団体連絡協議会	平成23年3月1日

予算事業名	男女共同参画推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	----------	--

協働事業名称	イーブンライフ in 川越	
協働事業の概要	講演会「イーブンライフ in 川越」の開催 1. 開催日 平成22年11月27日(土) 2. 会場 やまぶき会館 3. 講師 神田道子氏(独立行政法人国立女性教育会館理事) 4. 講演会テーマ 「地域をつくる協働関係を」～男女共同参画をすすめるために～ 5. アトラクション 和太鼓演奏・城西川越和太鼓『樺(けやき)』 6. 来場者数 286名	
協働事業の決算額	270,470	
事業の実施期間	平成22年6月25日 ~ 平成22年11月30日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	①補助・助成 ②共催 ③協働委託 ④後援 ⑤情報交換・情報提供 ⑥実行委員会・協議会 ⑦事業協力 ⑧企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報を共有することができましたか。	前	5	4	4.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	3	4	3.5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	3	3.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	3	5	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	4	4

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	5	4.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	4	4.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思えますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	59.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>・男女共同参画は一般市民層にとって馴染みの薄いテーマであることに加えて、参加者アンケートでも若年層の参加が少ない等との指摘がなされていることから、講師やテーマを工夫し、幅広い市民層の参加を推進していきたい。</p> <p>・参加者数の確保のみに捉われることなく、今後は、解決すべき課題や事業の成果目標等を市側であらかじめ設定するなど、質的な要求水準にも留意していくことが必要である。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>行政との綿密な連携によって一層充実し、努力していきたい。</p> <p>初めての参加で企画・運営等全体構想に戸惑いがあった。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】		B
男女共同参画の推進のためにどうするか意見交換を密に図るなど改善の余地はあると思います。また、参加者に若い世代や男性参加者が少ないように感じますので、呼びかけの工夫が必要かと思えます。		

協働事業評価シート

部課名	福祉部 子育て支援課	記入年月日
団体名	NPO法人川越子育てネットワーク	平成23年3月28日
予算事業名	次世代育成支援対策行動計画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>

協働事業名称	父親育児講座事業	
協働事業の概要	父親が育児に携わる際に役立つ具体的に活用できる実践的な知識を提供するため、父親とその家族を対象とし2日間の講座を実施。 日時：平成23年1月16日（日）及び1月30日（日）実施 10時から12時 場所：川越市中央公民館 1日目 小児救急講習（救急救命士による講習、実技） 2日目 CAP講座（子どもへの暴力防止プログラム） （母親は、骨盤体操、ヘビーマッサージなどの別プログラムを実施）	
協働事業の決算額	66,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年 1月16日 ～ 平成23年1月30日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	4	4.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	5	5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	68 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】 今回の事業は、市民活動団体の父親スタッフを中心に行っており、父親の目線から具体的な内容を考え、ニーズにあった事業が提供できたと思う。
【市民活動団体等】 講座に参加していた父親たちは、育児にとっても積極的に真剣に関わっている方が多いと感じた。同じような思いを持つ父親同士で、育児や家族について一緒に考える機会を増やすことで、地域力を高めることが出来ると感じた。 参加者から、「今後も企画があれば参加したい」という声も多かったので、父親の講座や集える場のニーズも感じた。 ただし、具体的内容に関しては、テーマを提示しつつ、市民サイドからの吸い上げが必要である。 また、今回の様なテーマに眼を向けていない市民（今回参加しなかった方々）に対して、啓蒙活動を平行して進めることで虐待防止の啓発にもつながるはずである。 最後に、当団体スタッフと参加者が現役父親同士という立場でのつながりを築けたこともメリットの一つであった。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 父親育児の参加を促す講座として内容がよかったですと思います。実際に父親の意識を変えるのに大きく寄与しているのではないのでしょうか。 事前確認や役割分担が事前にしっかりとされていたので、短期間で効果的に実施できたのではないかと考えます。地域の父親の繋がりができることで、地域での人と人の繋がりが強くなりますので、もっと広く参加を呼び掛けてください。		

協働事業評価シート

部課名	福祉部 保育課	記入年月日
団体名	NPO法人川越子育てネットワーク	平成23年3月31日
予算事業名	地域子育て支援事業	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>

協働事業名称	子育て支援事業「つどいの広場」	
協働事業の概要	◎「連雀町つどいの広場」の運営 〇歳からおおむね3歳までの子とその親が、気軽に集い、交流を図ることで、子育ての悩みを相談したり、情報交換したりでき、互いに学び合い・助け合い・育ち合い、親子が成長する場を提供する「つどいの広場」の実施。 場 所：川越市福祉サポート連雀町（2階） 開所日時：週5日（月～金）、午前10時から午後3時まで ※1日の利用者数 平均約20組 ※月1～2回の講座等の実施	
協働事業の決算額	1,899,450 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成22年 8月 1日 ～ 平成23年 3月31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	4	4.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	4	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	69 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】 きめ細かな部分まで市民ニーズに対応できたと思う。相互の信頼感をより一層深め、更に充実した事業を展開できるよう期待したい。
【市民活動団体等】 本事業（2年目）は、1年目の経験を踏まえ、互いの役割分担・責任がより明確化し、信頼関係も高まる中で実施できたと感じた。 保育課には、運営に関して当団体の主体性を尊重していただいたことに大変感謝したい。 当団体の特性は、 ①当事者のニーズに素早く気づき、柔軟に迅速に対応できる ②スタッフが利用者とも意図的に関わり、つながりやを大切にしている点である。 これらを最大限に発揮できた事業だと自負している。 今後は、つどいの広場の存在をより多くの人に知っていただくこと、足を運んでもらう工夫をしていきたい。行政側にも広報面などで協力をお願いしたい。 また、利用者の中で特に支援が必要な利用者への対応について、横の連携を迅速に図ることができる体制の整備に努めたい。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 役割分担が明確であり、お互いのよい部分を活かした形で協働が実施されているのではないのでしょうか。利用者数も順調であり、期待された効果を挙げていると考えられます。 子育てに悩む親が多い中、同じような立場の方々の交流が図れるよう、今後は「つどいの広場」の広報面に力を入れ、より参加者を増やしていくこと等の工夫をお願いします。		A

協働事業評価シート

部課名	環境部 環境政策課	記入年月日	
記入団体名	生活クラブ生協川越支部川越まちづくり委員会	平成22年12月14日	

予算事業名	環境基本計画推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	----------	--

協働事業名称	かわごえエコツアー事業		
協働事業の概要	川越グリーンマップを利用し、参加した市民等が市内の雑木林、緑地、湧水池等の環境スポットを見学し、市内の環境の現状やその保全の大切さを体感し、学んでもらうために、その趣旨に賛同した市民活動団体に協働委託して実施したものです。 【実施内容】 実施日：平成22年9月22日（木） 行 程：川越駅西口→寺尾調節池外→菅間緑地→東洋大学川越キャンパス→資源化センター→（仮称）なぐわし公園予定地→川越駅西口 参加者：37名		
協働事業の決算額	99,750 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成22年9月22日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	3	3.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	5	4.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思えますか。	後	3	4	3.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	64.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】
本事業は、施設を含めた市内の環境の現状を知ることができるという意味では有意義な事業だと思いますが、グリーンマップ改定への参画や具体的な環境保全活動へつなげていこうとする参加者の意識は薄いと感じました。平成23年度に予算がつき、グリーンマップ改定が終了した後に継続的に事業を実施していく場合には、環境の現状と保全の大切さを知ってもらい、それを参加者の具体的な活動につなげていくことが事業の主要な目的だと思います。単なる見学イベントに終わらないように、何年か前に見学した環境ポイントの現状の変化などを定点観測したり、保全活動に協力してくれる市民等を増やしていくなど具体的に保全していく方策なども委託先の団体と一緒に検討できればと思います。

【市民活動団体等】
協働事業を受ける団体としては単なるイベントでなく、市の長期計画にそった活動であることが望ましいと思っています。しかし、この協働事業に参加した人たちがこのエコツアーがどのような意味を持っているか理解しているとは言い難い。協働事業の母体である「生活クラブ生協川越支部」の会員ですら「グリーンマップ」改定に関して関心を寄せているかは解りかねる部分がある。が、川越市民でありながら知らない場所（環境に配慮した施設）を知ることによって第一歩となり、継続していく活動、市の施策に関心を持つようになれば協働事業としては良かったと思う。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】
川越市の環境の現状を知ってもらい、市民一人ひとりが環境保全の意識を深くするための事業であります。多くの市民に環境保全の大切さを知ってもらうため、参加者を多くする工夫をすると、より良い事業になるのではないのでしょうか。